

2019年10月4日

## 2019年責任投資活動報告の公表について

### ～「第一生命らしい責任投資」を通じた地域・社会の課題解決への貢献～

第一生命保険株式会社(代表取締役社長:稲垣 精二、以下「当社」)は、当社の責任投資(ESG投資およびステュワードシップ活動)に対する基本的な考え方や具体的な取組内容について、保険契約者・株主・取引先・地域社会等、全てのステークホルダーの皆様にお伝えするために、「責任投資活動報告」を作成いたしましたので、お知らせします。



2019年 責任投資活動報告



Dai-ichi Life Group



当社は、日本全国の約1,000万名の保険契約者からお預かりした約35兆円の資金を幅広い資産で運用する「ユニバーサル・オーナー」として、多様なステークホルダーを意識した資産運用を行う必要があると認識しています。したがって、運用収益を獲得するだけでなく、地域・社会の課題解決に貢献していくことも使命であり、「第一生命らしい責任投資」を積極的に推進しています。

当社は、日本を軸にグローバルに事業展開していることから、以下の重点テーマを掲げ、資産横断的にESG投資を推進しています。

- 「QOL向上\*」 : 第一生命グループの価値創造の注力分野
- 「地方創生・地域活性化」 : 日本の社会課題
- 「気候変動の緩和」 : グローバルの社会課題

引き続き、持続可能な社会の実現に向けて、ESG投資・ステュワードシップ活動を通じて、ステークホルダーの皆様とともに社会課題の解決に貢献していきます。

\*当社はQOL(Quality of Life)向上を「一人ひとりが望むしあわせな人生や生き方を実現すること」と捉え、人々の「QOL向上への貢献」を目指しています。

<2019年 責任投資活動報告>

URL [https://www.dai-ichi-life.co.jp/dsr/investment/pdf/ri-report\\_001.pdf](https://www.dai-ichi-life.co.jp/dsr/investment/pdf/ri-report_001.pdf)